

コバケン・ワールド Vol.40~42

指揮とお話：小林研一郎
[桂冠名誉指揮者]

K O B A K E N W O R L D



© Makoto Kamiya

コバケン・ワールド Vol.40

好評発売中

2025年6月15日(日) 14:00 サントリーホール

ヴァイオリン：千葉清加 [日本フィル・アシスタント・コンサートマスター]

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第3番

マーラー：交響曲第1番《巨人》



© 井村重人

コバケン・ワールド Vol.41

2025年6/5 発売

2025年9月28日(日) 14:00 サントリーホール

ヴァイオリン：神尾真由子

サン＝サーンス：ヴァイオリン協奏曲第3番

チャイコフスキー：交響曲第5番



コバケン・ワールド Vol.42

2025年12/3 発売

2026年3月20日(金・祝) 14:00 サントリーホール

クラリネット：伊藤寛隆 [首席奏者]

モーツァルト：クラリネット協奏曲

ベートーヴェン：交響曲第3番《英雄》

【チケット価格改定・ルール変更について】 このたび昨今の社会情勢を鑑み、Vol.40からチケット価格の改定ならびにGs席の対象年齢を70歳以上に変更、障害者手帳をお持ちの方の割引も席種による価格改定をいたしました(詳しくはサービスセンターまでお問合せください)。何卒ご理解賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

【Vol.40~Vol.42 各回】 S ¥7,300 A ¥5,800 B ¥4,700 P ¥3,700 Ks ¥2,000* Gs ¥4,500*

【Vol.40~Vol.42】
3回セット券
S ¥15,400 A ¥12,300 B ¥10,200
P ¥8,000 Gs (70歳以上) ¥9,800

好評
発売中!

*Ks 席は 25 歳以下の方が対象で、
全ての席種から選べます。

*Gs 席は 70 歳以上の方が対象で、
S 席以外から選べます。

【お問合わせ】 日本フィル・サービスセンター ☎ 03-5378-5911 (平日 10 時~17 時) e チケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>

主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 助成：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 協賛：ローム株式会社



人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。
JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
—— 創立指揮者 渡邊 暁雄 ——

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第405回

横浜定期演奏会

405th YOKOHAMA Subscription Concert

2025年 3月22日(土) 午後5時開演

横浜みなとみらいホール

5:00pm March 22nd(Sat.), 2025, at Yokohama Minato Mirai Hall



主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援：神奈川新聞社、+vkk

協力：横浜みなとみらいホール

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁

ショパンを知る、聴く1日ツアー

講義・最終リハ見学・
出演者トーク・演奏会

「ピアノの詩人」と呼ばれるショパン。その呼び名の通り、彼は当時の有名音楽家の中では、ほぼピアノ作品のみに特化して作曲活動をおこなった例外的存在でした。本講座では、そんなショパン独自の立ち位置の謎を、彼が書いたピアノ協奏曲をはじめとするピアノとオーケストラのための作品を通じ、社会文化史の視点から解き明かします。(小宮講師・記)

講座のあとは、ショパン国際ピアノコンクール最年少入賞から35年を迎えた「ショパン弾き」横山幸雄さん(ピアノと指揮)と日本フィルハーモニー交響楽団による演奏会を横浜みなとみらいホールで鑑賞します。最終リハーサル(ゲネプロ)見学や出演者のインタビューもついたりまたない機会をぜひお楽しみください。

当日のスケジュール(予定)

11:00~12:30 講義「社会文化史から読み解く「ピアノの詩人」ショパンの魅力」
講師:小宮正安 会場:朝日カルチャーセンター横浜教室(ルミネ8階)

※各自公演会場へ移動、昼食は各自でお取り下さい※

14:15 横浜みなとみらいホール 大ホール入口集合

14:30~15:30 演奏会最終リハーサル見学
※見学終了後、小宮正安先生と横山幸雄さんミニトーク

17:00~ 第406回横浜定期演奏会 開演(約2時間)

※上記はあくまでも予定です。当日の状況により、多少の変更がある場合がございます。

※受講料には本公演・S席チケット代(8,500円)が含まれています。お席の指定、お申し込み後のキャンセルはできません。ご了承下さい。

※チケット手配の関係上、お申込み(支払い)は4月10日(木)までとなります。

※この講座の受講料には音楽使用料が含まれています。

朝日カルチャーセンター会員 13,178円(税込) 一般 14,278円(税込)

※公演チケットをすでにお持ちの方は朝日カルチャーセンター横浜教室へお問合せください。

お申込み・お問合せ 朝日カルチャーセンター横浜教室 045-453-1122

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック <https://members.tvuch.com/>



↑詳細はこちら

1000円で
何度でも!

アーカイブ配信中 ※公演日から6ヶ月間販売しています。購入から3ヶ月間何度でも視聴可!

- 指揮: 山田和樹 エルガー: 威風堂々第1番、交響曲第2番
- 指揮: 下野竜也 ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》他
- 指揮: 広上淳一、合唱: 日本フィルハーモニー協会合唱団 他 ヴェルディ: レクイエム
- 指揮: 小林研一郎、ピアノ: 高木竜馬 ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番、ブラームス: 交響曲第1番 4/17まで

注目のヴァイオリニスト中野りなと巨匠小林研一郎との真向勝負

2022年第8回仙台国際音楽コンクールにおいて、史上最年少の17歳で優勝、及び聴衆賞を受賞し大きな注目を浴びた中野りなとのチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲にご期待ください。巨匠小林研一郎と真向勝負のチャイコフスキーが、どのような展開を見せるのか、楽しみです。後半には近代管弦楽法の父であるリムスキー=コルサコフの絢爛豪華な《シェエラザード》を取り上げます。有名な「千夜一夜物語」に基づくオリエンタルな妖艶さとダイナミクスとが隣り合ったストーリーを、リムスキー=コルサコフが一音たりとも無駄にせずオーケストラというパレットを通じて音化させた大傑作です。

Programs

チャイコフスキー:

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.35 (約33分)

Pyotr TCHAIKOVSKY: Concerto for Violin and Orchestra in D-major, op.35

———— 休憩 (20分) Intermission ————

リムスキー=コルサコフ:

交響組曲《シェエラザード》op.35 (約42分)

Nikolai RIMSKY-KORSAKOV: Symphonic Suite "Sheherazade" op.35

(ヴァイオリン独奏: 木野雅之)

指揮: 小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

Conductor: KOBAYASHI Ken-ichiro, Honorary Conductor Laureate

ヴァイオリン: 中野りな

Violin: NAKANO Lina

コンサートマスター: 木野雅之 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: KINO Masayuki, JPO Solo Concertmaster

© 山本倫子



指揮：小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

“炎のコバケン”の愛称で親しまれる日本を代表する指揮者。東京藝術大学作曲科、及び指揮科の両科を卒業。

1974 年第1回ブタペスト国際指揮者コンクール第一位、及び特別賞を受賞。2002 年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。これまでにハンガリー国立フィル、チェコ・フィル、アーネム・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ロンドン・フィル、ハンガリー放送響、N 響、読響、日本フィル、都響等の名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章（同国で最高位）等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。作曲家としても数多くの作品を書き、1999 年に日本・オランダ交流 400 年記念の委嘱作品、管弦楽曲『パッサカリア』を作曲、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団によって初演されると、聴衆から熱狂的な喝采を以て迎えられた。同作品はそれ以降も様々な機会に、アシュケナージ指揮 N 響、小林研一郎指揮日本フィル等で再演されている。2005 年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。CD、DVD はオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』（日本図書協会選定図書）等がある。現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ロームミュージックファンデーション評議員等を務める。

公式ホームページ <https://maestro-kobaken.com/>

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。ご要望の方は主催受付まで申し出ください。

●お客様へのお願い●

演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声や体の動きなどで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

© kisekimichiko



ヴァイオリン：中野りな

2021 年第 90 回日本音楽コンクール優勝。2022 年第 8 回仙台国際音楽コンクールにおいて、史上最年少の 17 歳で優勝、及び聴衆賞を受賞し大きな注目を浴びる。以降、主要オーケストラとの共演やリサイタル等、演奏活動をはじめ、現在、最も将来が期待される若手ヴァイオリニストとして高い評価を得ている。

3 歳よりヴァイオリンを始め、桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室にて森川ちひろに学ぶ、桐朋女子高等学校音楽科を卒業後、現在桐朋学園大学「ソリスト・ディプロマ・コース」に全額免除特待生として在学し、辰巳明子に師事。また、ウィーン市立芸術大学ではカルヴァイ・ダリボルに師事し研鑽を積んだ。ロームミュージックファンデーション 2023 年度及び 2024 年度奨学生。

これまで、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、セントラル愛知交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、ザルツブルク・チェンバー・ソロイスト等共演多数。フォンテックよりブーランク、R. シュトラウスのソナタ他を収めたアルバムをリリース。

使用楽器：1702 年製アントニオ・ストラディヴァリウス〈ライアル〉（一般財団法人 ITOH より貸与）。



← YouTube チャンネル

【2分でわかる大人のためのオーケストラ入門 Plus+】
X、Instagram では 2 分バージョン配信中！



© István Kohán



今日のコンサートの聴きどころは？

音楽評論家八木宏之さんの
楽しい解説をお楽しみください！

16時20分
より
大ホール内
にて♪

八木宏之（やぎ ひろゆき）● 1990 年東京生まれ。青山学院大学文学部史学科芸術史コース卒業。愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士前期課程（修士：音楽学）およびソルボンヌ大学音楽専門職修士課程（Master 2 Professionnel Médiation de la Musique）修了。2021 年春に Web メディア『FREUDE』を立ち上げ、その運営を行う株式会社メディアアシオンを設立。クラシック音楽を中心に、プログラムノートやライナーノーツを多数執筆するほか、コンサートのプレトークなども積極的に行なっている。

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.35

ロシアのクラシック音楽界に西欧的な要素を加え、このジャンルの発展に大きく寄与した音楽家ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー（1840-93）が38歳を迎えた折の作品。結婚生活が短期間で破綻する中、人生最大のスランプに見舞われた彼が、徐々に創作力を回復しつつあった時期に当たる。

そのような折、彼の下を教え子であった…また同性の恋人だったとも伝えられる…コテック（1855-85）というヴァイオリニストが訪問する。コテックはチャイコフスキーに、楽壇で話題となっていたフランスの作曲家ラロ（1823-92）の『スペイン交響曲』（「交響曲」と銘打たれてはいるが、実際には独奏ヴァイオリンと管弦楽のための交響的協奏曲）の譜面を見せた。結果、このスペイン民謡を主題としたヴァイオリン協奏曲に刺激を受けてチャイコフスキーが作曲したのが、当協奏曲である。

ニ長調を基本としつつ、全体が三楽章から成るという構成は、チャイコフスキーが崇拝していたベートーヴェン（1770-1827）のヴァイオリン協奏曲を彷彿させる。ただしこの曲が、オーストリアの都ウィーンで世界初演された際、有名批評家であったハンスリック（1825-1904）が「悪臭を放つ音楽」と揶揄したように、ベートーヴェンのような堂々たる構築感を期待すると裏切られるかもしれない。チャイコフスキーの代名詞ともいえる、底なしの憂鬱とそこから生まれるやるせない憧れが、曲のそこかしこに溢れているからだ。

じっさい当作品については、演奏不可能のレッテルを貼られることもあった。そもそも、世界初演がロシアではなくオーストリアでおこなわれたのも、そうした理由のため。当初この曲がロシア最大のヴァイオリニストであったアウアーに献呈される予定であったところ、拒絶されたのである。

そこで、やはりロシア出身ヴァイオリニスト、ブロッキー（1851-1929）の独奏により、最終的にウィーンでの世界初演がおこなわれた。そして彼の努力によって各地で再演が繰り返されるうちに次第に理解されるようになり、後にはアウアー自身も自らのレパートリーにこの曲を加えるようになっていった。ただしアウアー自身がおこなったように、様々なカットや変更を加えて上演されることも少なくない。本日は原曲通りの演奏になるのか、あるいは慣習的な変更が加えられるのか。それも聴きどころの1つである。

第1楽章：アレグロ・モデラート～モデラート・アッサイ

壮大だが憂愁を帯びた管弦楽の響きにのせて、独奏ヴァイオリンが時には堂々と、時には華やかに奏でられる長大な楽章。

第2楽章：カンツォネッタ

弱音器をつけた独奏ヴァイオリンのためいきのような音色が、悲哀に満ちた楽想を深め、切れ目なしに第3楽章に続く。

第3楽章：アレグロ・ヴィヴァティッシモ

ロシアの民族舞曲トレパークのリズムに乗せて、独奏ヴァイオリンとオーケストラがともに弾けるように躍動し、力強いクライマックスへと上り詰めてゆく。

楽器編成 独奏ヴァイオリン、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、ティンパニ1、弦楽5部。

リムスキー＝コルサコフ：交響組曲《シェエラザード》op.35

チャイコフスキーの同時代人であると同時に、民族主義的な視点から、これまたロシア音楽の発展に大きく貢献した音楽家の1人が、ニコライ・リムスキー＝コルサコフ（1844-1908）である。その彼が1888年に完成させたのが、交響組曲《シェエラザード》。通常の交響曲のように「起承転結」を成す4つの楽章を具えると同時に、とあるストーリーをオーケストラの色彩感や多様性を用いて描写した組曲、あるいは交響詩のような要素も含み、オーケストラ演奏会の花形的存在である。

シェエラザードとは、『千一夜』（『アラビアンナイト』）の語り手として登場する女性のこと。女性不信に陥り、初夜を共にした女性を次々と殺し続ける残忍な王の心を和らげるべく、彼女が王に対して毎晩のように語った物語を中心に、2人の関係の変化が音楽によって描かれてゆく。特徴的なのが、独奏ヴァイオリン（通常はコンサートマスターが担当する）によって奏でられ、曲中の各所に現れる「シェエラザードの主題」であり、物語を語る彼女の主題が全曲を統一する形をとっている。全体は次の4つの部分から成っている。

第1曲目：冒頭に表れるいかめしく恐ろしげな主題が王を、それに続いて、ハープの伴奏に乗って独奏ヴァイオリンが奏でる凜とした美しさを湛えた主題がシェエラザードを象徴する。やがてうねるような海の様子を表す音型にのって、シンドバットの航海をテーマにしたシェエラザードの物語が始まる。

第2曲目：巧みな物語をおこなって生き延びたシェエラザードは、王にさらなる話をきかせる。それが、諸国行脚の苦行僧に身をやつした王子の話であり、彼が知られざる相手と出会うことによって生じる様々な騒動が描かれる。

第3曲目：次にシェエラザードは、若い王子と王女の愛の物語を始める。王子を表す憧れと優しさに満ちたヴァイオリンの主題に続き、中間部ではダンス風の主題に乗って、クラリネットが快活な王女の旋律を表現する。

第4曲目：第1曲目の冒頭を思わせる王とシェエラザードの主題が、その時以上にのびきならぬ様子で示された後、彼女が語る「バグダッドの祭り」の話が激しく奏でられる。そして、これまで登場した様々な主題も回想されながら、曲はさらに激しさを増し、その頂点で荒れ狂う波に吞まれる船の難破の場面が変わる。すべてが消え去った後、独奏ヴァイオリンがシェエラザードの主題を交えつつ、王の中に、さらには王とシェエラザードの間に生じた慈しみと愛が、しみじみと描かれてゆく…。

楽器編成 ピッコロ1、フルート2（ピッコロ持替1）、オーボエ2（イングリッシュ・ホルン持替1）、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ1、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、タンブリン、銅鑼、ハープ1、弦楽5部。



Column

歴史でひもとく! ~クラシックこぼれ話 by 小宮正安



『千一夜／アラビアンナイト』ブームがもたらした『シェエラザード』

「アラビアンナイト」の原型は、8世紀頃固まったといわれている。これがヨーロッパ経由で世界に大きく広まるきっかけを作ったのが、フランスの東洋学者アントワヌ・ガラン(1646-1715)という人物。彼は1704年、アラビア語の写本を基にフランス語に翻訳したテキストを、『千一夜』というタイトルで出版し、ヨーロッパ各国にブームを巻き起こした。さらにこれを受け、1706年には英語による『アラビアンナイト・エンターテインメント』まで出版され、これもまたヨーロッパを含め、世界中で翻訳されていった。

なお、元々この物語はアラビア語で「千夜と一夜」という名称として伝えられていたものの、ガランが翻訳の際に用いたアラビア語の写本には282の物語しかなかった。そこでガランや彼に続く他の翻訳者は、本当は1001の物語があるはずだと考え、足りない分については次々と物語を追加した。結果、交響組曲『シェエラザード』にも登場するシンドバッドの冒険をはじめ、アラジンと魔法のランプ、アリババと40人の盗賊、空飛ぶ絨毯など、元々のアラビア語の写本になかった話が『千一夜』の多くを占めることとなった。

しかも18世紀から19世紀にかけては、ヨーロッパがアラブをはじめとする非ヨーロッパ世界を支配し、植民地化してゆく状況が起きていた。そうした中で、アラブはヨーロッパに比べて未開の、だが当のヨーロッパにはない妖しい魅力にあふれた世界と見なされてゆく。こうした状況を受けて、凶暴な王を前に、知性はもとより、その妖艶さによって彼の心をとらえていったシェエラザードも、エロスとエキゾティックの2つの要素を具えた存在として、ヨーロッパの人々を魅了してゆくこととなった。(なおシェエラザードと王の物語自体は、アラビア語の写本にも登場する。)

このように、オリジナルとは様々に異なる「改変」を経ながら、『千一夜／アラビアンナイト』ブームが巻き起こる中、その世界を描いた絵画や音楽作品もおびただしく生まれていった。交響組曲『シェエラザード』にかぎらない。この時代のヨーロッパのアートシーンに欠かせないテーマの1つこそが、ヨーロッパ的な味付けを施された『千一夜／アラビアンナイト』だったのである。

(第146回さいたま定期演奏会に掲載の原稿を改稿)



『シェエラザードと王』
マリー・エレーノール・ゴッドフロワ作
1842年頃

Next YOKOHAMA

第406回 横浜定期演奏会

2025年4月19日(土) 17:00
横浜みなとみらいホール

指揮・ピアノ: 横山幸雄

ショパン: ポーランドの歌による幻想曲 イ長調 op.13

ショパン: 演奏会用ロンド《クラコヴィアク》へ長調 op.14

ショパン: ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11



横山幸雄

ショパンを知る、聴く
1日ツアー開催!
詳細はP2

S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000

※ Ys: 25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。



ヴェルディ: オペラ《仮面舞踏会》

(セミ・ステージ形式/全3幕/字幕つき)

指揮: 広上淳一 [フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)]

演出: 高島 勲 合唱: 東京音楽大学

アメリカ: 中村恵理 リカルド: 宮里直樹 レナート: 池内 響
ウルリカ: 福原寿美枝 オスカル: 盛田麻央 シルヴァーノ: 高橋宏典
サムエル: 田中大揮 トム: 杉尾真吾

好評
発売中

サントリーホールで
人間ドラマが交錯する!
広上が全幅の信頼を寄せる
布陣で贈る新シリーズ

SS ¥12,000 S ¥9,500 A ¥8,000 B ¥6,500 C ¥5,000 D ¥3,000 ※一部見切れあり/電話のみ
Ys (25歳以下) ¥4,000* Gs (70歳以上) ¥5,000* *SS, S, D 除く

【チケット購入】日本フィル・サービスセンター

TEL: 03-5378-5911 (平日10:00 ~ 17:00) <https://eticket.japanphil.or.jp>

■新入団のお知らせ

2025年2月1日にトロンボーン・セクションに福島莉那が入団いたしました。
今後の活躍にご期待ください。

■放送予定

3月7日に開催した第768回東京定期演奏会はNHKにて放送予定です。

NHK-Eテレ「クラシック音楽館」 2025年4月13日(日) 夜9時～
カーチュン・ウォン指揮 マラー:交響曲第2番「復活」

※やむを得ず休止・延期となる場合がありますがご了承ください

<https://www.nhk.jp/p/ongakukan/ts/69WR9WJKM4/>



■本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。
フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

■テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組『Welcome クラシック』BS朝日
毎週水曜日 22:54～23:00 (第3週、第4週は再放送)。ぜひご覧ください！

もうすぐ発売！

にじクラ
～トークと笑顔と、音楽と 第8回

2025年9月17日 日 14:00

サントリーホール

指揮:川瀬賢太郎

チェロ:上野通明

ナビゲーター:高橋克典

4/16 日
発売

第51回日本フィル夏休みコンサート2025

2025年7月19日～7月27日

指揮:園田隆一郎

バレエ:スターダンサーズ・バレエ団

2025年8月1日～8月24日

指揮:大井剛史 ピアノ:金子三勇士

お話とうた:江原陽子

4/24 日
発売

◆定期会員券ご寄付のお願い◆

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【ご寄付の方法】

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

- 公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。
- 会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただけます様ご協力をお願いいたします。
- ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。
心より御礼申し上げます。

1月の寄付者 匿名5名

敬称略・五十音順

日本フィル・サービスセンター
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911 (平日10時～17時)

FAX: 03-5378-6161 (24時間)

e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

横浜定期会員の特典

横浜ベイホテル東急(横浜みなとみらいホール向かい)にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食: 下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。(4名様まで) ※除外日および対象外メニューあり

オールデイダイニング「カフェ トスカ」/ラウンジ「ソマーハウス」/中国料理「スーツァンレストラン陳」

※会計時に横浜定期会員券をご呈示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。

※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですのでご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

(1956年6月創立)

- 創立指揮者/渡邊曉雄
- 桂冠名誉指揮者/小林研一郎
- 名誉指揮者/ルカーチ・エルヴィン
- 名誉指揮者/ジェームズ・ロッホラン
- 客員首席指揮者/ネーメ・ヤルヴィ

- 首席指揮者/カーチュン・ウォン
- 桂冠指揮者兼芸術顧問/アレクサンドル・ラザレフ
- フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)/広上淳一

公式X (元Twitter)
@Japanphil



公式
アカウント



ソロ・コンサートマスター
扇谷泰朋
木野雅之
田野倉雅秋

アシスタント・
コンサートマスター
千葉清加

第1ヴァイオリン
伊藤太郎
太田麻衣
九鬼明子
齋藤政和
榊 渚
竹歳夏鈴
崎大起
田村昭博
中谷郁子
西村優子
平井幸子
本田純一

コントラバス
●高山智仁
鈴木優介
成澤美紀
宮坂典幸
森田麻友美
山口雅之
フルート
●真鍋恵子
齋藤光晴
難波 薫
オーボエ
●杉原由希子
●岡岡裕雅
佐竹真登

第2ヴァイオリン
遠藤直子
大貫聖子
岡田紗弓
加藤祐一
神尾あずさ
川口 貴
佐藤駿一郎
末廣紗弓
豊田早織
町田 匡
山田葉月
松田千秋

クラリネット
●伊藤寛隆
●楠木 慶
照沼夢輝
堂面宏起
ファゴット
●古吉佑久子
●鈴木一志
中川日出鷹

- ☆安達真理
- 江藤史織
- 小俣由佳
- 小中澤基道
- 児仁井かおり
- 高橋智史
- 中川裕美子
- 中溝とも子
- 松澤雅奈
- ホルン
●丸山 勉
●信末碩才
- 伊藤 舜
- 原川翔太郎
- 村中美菜

ソロ・トランペット
オッタビアーノ・
クリスト・フォリ

トランペット
●大西敏幸
●大飼伸紀
中里州宏
中務朋子
星野 究

トロンボーン
●伊藤雄太
●笠間勇登
□福島莉那

バス・トロンボーン
中根幹太

チューバ
柳生和大

ティンパニ
●エリック・バケラ
●池田健太

パーカッション
大河原 渉

ハープ
松井久子

楽団長
星野 究

チーフステージマネージャー
阿部紋子

ステージスタッフ
長橋健太
森田大翔

チーフインスペクター
佐藤駿一郎

インスペクター
鈴木優介
崎大起

ライブラリアン
鬼頭さやか
杉本哲也

- 首席奏者
- 副首席奏者
- ☆客演首席奏者
- 試用期間

理事長(代表理事)
平井俊邦

副理事長(代表理事)
五味康昌

専務理事(代表理事)
福井英次

常務理事(代表理事)
後藤朋俊

理事
石井啓一郎
石塚邦雄
佐々木経世
田村浩章
戸所邦弘
中根幹太
葉田順治
福本ともみ

監事
上條貞夫
福澤宏哉
評議員会会長
加藤丈夫

評議員
青井 浩
安孫子 正
荒崎康一郎
石村 等
稲垣 尚
内川清雄
大塚宣夫
海堀周造
梶浦卓一
河北博文
喜多崇介
木村恵司
久保田 隆
小林研一郎
島田精一
津田義久
西澤 豊
野間省伸
福満一夫
村上典吏子
山口多賀幸

シニア・パートナー
新井康久
伊波 睦
永島義郎
南部洋一
吉江信博

名誉顧問
熊谷直彦
島田晴雄
田邊 稔
コミュニケーション・ディレクター
マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ
浅見浩司
磯部一史
江原陽子
及川ひろか
小川紗智子
荻島里帆
賀澤美和
柏熊由紀子
小須田明
佐々木文雄
澤田智夫
篠崎めぐみ
杉山綾子
杉山まどか
高橋勇人
田中正彦
樋谷祐子
中村沙緒里
西田大輔
西田真菜
長谷川珠子
藤田千明
藤村益江
別府一樹
益満行裕
宗澤晶子
山岸淳子
吉岡浩子

シニア・パートナー
新井康久
伊波 睦
永島義郎
南部洋一
吉江信博

名誉顧問
熊谷直彦
島田晴雄
田邊 稔
コミュニケーション・ディレクター
マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ
浅見浩司
磯部一史
江原陽子
及川ひろか
小川紗智子
荻島里帆
賀澤美和
柏熊由紀子
小須田明
佐々木文雄
澤田智夫
篠崎めぐみ
杉山綾子
杉山まどか
高橋勇人
田中正彦
樋谷祐子
中村沙緒里
西田大輔
西田真菜
長谷川珠子
藤田千明
藤村益江
別府一樹
益満行裕
宗澤晶子
山岸淳子
吉岡浩子

名誉顧問
熊谷直彦
島田晴雄
田邊 稔
コミュニケーション・ディレクター
マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ
浅見浩司
磯部一史
江原陽子
及川ひろか
小川紗智子
荻島里帆
賀澤美和
柏熊由紀子
小須田明
佐々木文雄
澤田智夫
篠崎めぐみ
杉山綾子
杉山まどか
高橋勇人
田中正彦
樋谷祐子
中村沙緒里
西田大輔
西田真菜
長谷川珠子
藤田千明
藤村益江
別府一樹
益満行裕
宗澤晶子
山岸淳子
吉岡浩子

名誉顧問
熊谷直彦
島田晴雄
田邊 稔
コミュニケーション・ディレクター
マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ
浅見浩司
磯部一史
江原陽子
及川ひろか
小川紗智子
荻島里帆
賀澤美和
柏熊由紀子
小須田明
佐々木文雄
澤田智夫
篠崎めぐみ
杉山綾子
杉山まどか
高橋勇人
田中正彦
樋谷祐子
中村沙緒里
西田大輔
西田真菜
長谷川珠子
藤田千明
藤村益江
別府一樹
益満行裕
宗澤晶子
山岸淳子
吉岡浩子

名誉顧問
熊谷直彦
島田晴雄
田邊 稔
コミュニケーション・ディレクター
マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ
浅見浩司
磯部一史
江原陽子
及川ひろか
小川紗智子
荻島里帆
賀澤美和
柏熊由紀子
小須田明
佐々木文雄
澤田智夫
篠崎めぐみ
杉山綾子
杉山まどか
高橋勇人
田中正彦
樋谷祐子
中村沙緒里
西田大輔
西田真菜
長谷川珠子
藤田千明
藤村益江
別府一樹
益満行裕
宗澤晶子
山岸淳子
吉岡浩子

名誉顧問
熊谷直彦
島田晴雄
田邊 稔
コミュニケーション・ディレクター
マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ
浅見浩司
磯部一史
江原陽子
及川ひろか
小川紗智子
荻島里帆
賀澤美和
柏熊由紀子
小須田明
佐々木文雄
澤田智夫
篠崎めぐみ
杉山綾子
杉山まどか
高橋勇人
田中正彦
樋谷祐子
中村沙緒里
西田大輔
西田真菜
長谷川珠子
藤田千明
藤村益江
別府一樹
益満行裕
宗澤晶子
山岸淳子
吉岡浩子

名誉顧問
熊谷直彦
島田晴雄
田邊 稔
コミュニケーション・ディレクター
マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ
浅見浩司
磯部一史
江原陽子
及川ひろか
小川紗智子
荻島里帆
賀澤美和
柏熊由紀子
小須田明
佐々木文雄
澤田智夫
篠崎めぐみ
杉山綾子
杉山まどか
高橋勇人
田中正彦
樋谷祐子
中村沙緒里
西田大輔
西田真菜
長谷川珠子
藤田千明
藤村益江
別府一樹
益満行裕
宗澤晶子
山岸淳子
吉岡浩子

名誉顧問
熊谷直彦
島田晴雄
田邊 稔
コミュニケーション・ディレクター
マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ
浅見浩司
磯部一史
江原陽子
及川ひろか
小川紗智子
荻島里帆
賀澤美和
柏熊由紀子
小須田明
佐々木文雄
澤田智夫
篠崎めぐみ
杉山綾子
杉山まどか
高橋勇人
田中正彦
樋谷祐子
中村沙緒里
西田大輔
西田真菜
長谷川珠子
藤田千明
藤村益江
別府一樹
益満行裕
宗澤晶子
山岸淳子
吉岡浩子

団友
青柳哲夫
青山 均
赤堀泰江
新井豊治
石井啓一郎
伊藤恒男
伊波 睦
宇田紀夫
遠藤 功
遠藤剛史
大石 修
大川内 弘
寛 美知子
金本順子
蒲谷隆行
川口和宏
菊田秋一
岸良開城
吉川利幸
木村正伸
小林俊夫
小山 清
斎藤千種
佐々木裕司
佐藤玲子
菅原 光
高木裕子
高木雄司
高木 洋
高倉理実
田沢 烈
立川和男
石村 等
稲垣 尚
内川清雄
大塚宣夫
海堀周造
梶浦卓一
河北博文
喜多崇介
木村恵司
久保田 隆
小林研一郎
島田精一
津田義久
西澤 豊
野間省伸
福満一夫
村上典吏子
山口多賀幸

団友
青柳哲夫
青山 均
赤堀泰江
新井豊治
石井啓一郎
伊藤恒男
伊波 睦
宇田紀夫
遠藤 功
遠藤剛史
大石 修
大川内 弘
寛 美知子
金本順子
蒲谷隆行
川口和宏
菊田秋一
岸良開城
吉川利幸
木村正伸
小林俊夫
小山 清
斎藤千種
佐々木裕司
佐藤玲子
菅原 光
高木裕子
高木雄司
高木 洋
高倉理実
田沢 烈
立川和男
石村 等
稲垣 尚
内川清雄
大塚宣夫
海堀周造
梶浦卓一
河北博文
喜多崇介
木村恵司
久保田 隆
小林研一郎
島田精一
津田義久
西澤 豊
野間省伸
福満一夫
村上典吏子
山口多賀幸

団友
青柳哲夫
青山 均
赤堀泰江
新井豊治
石井啓一郎
伊藤恒男
伊波 睦
宇田紀夫
遠藤 功
遠藤剛史
大石 修
大川内 弘
寛 美知子
金本順子
蒲谷隆行
川口和宏
菊田秋一
岸良開城
吉川利幸
木村正伸
小林俊夫
小山 清
斎藤千種
佐々木裕司
佐藤玲子
菅原 光
高木裕子
高木雄司
高木 洋
高倉理実
田沢 烈
立川和男
石村 等
稲垣 尚
内川清雄
大塚宣夫
海堀周造
梶浦卓一
河北博文
喜多崇介
木村恵司
久保田 隆
小林研一郎
島田精一
津田義久
西澤 豊
野間省伸
福満一夫
村上典吏子
山口多賀幸

団友
青柳哲夫
青山 均
赤堀泰江
新井豊治
石井啓一郎
伊藤恒男
伊波 睦
宇田紀夫
遠藤 功
遠藤剛史
大石 修
大川内 弘
寛 美知子
金本順子
蒲谷隆行
川口和宏
菊田秋一
岸良開城
吉川利幸
木村正伸
小林俊夫
小山 清
斎藤千種
佐々木裕司
佐藤玲子
菅原 光
高木裕子
高木雄司
高木 洋
高倉理実
田沢 烈
立川和男
石村 等
稲垣 尚
内川清雄
大塚宣夫
海堀周造
梶浦卓一
河北博文
喜多崇介
木村恵司
久保田 隆
小林研一郎
島田精一
津田義久
西澤 豊
野間省伸
福満一夫
村上典吏子
山口多賀幸

団友
青柳哲夫
青山 均
赤堀泰江
新井豊治
石井啓一郎
伊藤恒男
伊波 睦
宇田紀夫
遠藤 功
遠藤剛史
大石 修
大川内 弘
寛 美知子
金本順子
蒲谷隆行
川口和宏
菊田秋一
岸良開城
吉川利幸
木村正伸
小林俊夫
小山 清
斎藤千種
佐々木裕司
佐藤玲子
菅原 光
高木裕子
高木雄司
高木 洋
高倉理実
田沢 烈
立川和男
石村 等
稲垣 尚
内川清雄
大塚宣夫
海堀周造
梶浦卓一
河北博文
喜多崇介
木村恵司
久保田 隆
小林研一郎
島田精一
津田義久
西澤 豊
野間省伸
福満一夫
村上典吏子
山口多賀幸

団友
青柳哲夫
青山 均
赤堀泰江
新井豊治
石井啓一郎
伊藤恒男
伊波 睦
宇田紀夫
遠藤 功
遠藤剛史
大石 修
大川内 弘
寛 美知子
金本順子
蒲谷隆行
川口和宏
菊田秋一
岸良開城
吉川利幸
木村正伸
小林俊夫
小山 清
斎藤千種
佐々木裕司
佐藤玲子
菅原 光
高木裕子
高木雄司
高木 洋
高倉理実
田沢 烈
立川和男
石村 等
稲垣 尚
内川清雄
大塚宣夫
海堀周造
梶浦卓一
河北博文
喜多崇介
木村恵司
久保田 隆
小林研一郎
島田精一
津田義久
西澤 豊
野間省伸
福満一夫
村上典吏子
山口多賀幸

団友
青柳哲夫
青山 均
赤堀泰江
新井豊治
石井啓一郎
伊藤恒男
伊波 睦
宇田紀夫
遠藤 功
遠藤剛史
大石 修
大川内 弘
寛 美知子
金本順子
蒲谷隆行
川口和宏
菊田秋一
岸良開城
吉川利幸
木村正伸
小林俊夫
小山 清
斎藤千種
佐々木裕司
佐藤玲子
菅原 光
高木裕子
高木雄司
高木 洋
高倉理実
田沢 烈
立川和男
石村 等
稲垣 尚
内川清雄
大塚宣夫
海堀周造
梶浦卓一
河北博文
喜多崇介
木村恵司
久保田 隆
小林研一郎
島田精一
津田義久
西澤 豊
野間省伸
福満一夫
村上典吏子
山口多賀幸

団友
青柳哲夫
青山 均
赤堀泰江
新井豊治
石井啓一郎
伊藤恒男
伊波 睦
宇田紀夫
遠藤 功
遠藤剛史
大石 修
大川内 弘
寛 美知子
金本順子
蒲谷隆行
川口和宏
菊田秋一
岸良開城
吉川利幸
木村正伸
小林俊夫
小山 清
斎藤千種
佐々木裕司
佐藤玲子
菅原 光
高木裕子
高木雄司
高木 洋
高倉理実
田沢 烈
立川和男
石村 等
稲垣 尚
内川清雄
大塚宣夫
海堀周造
梶浦卓一
河北博文
喜多崇介
木村恵司
久保田 隆
小林研一郎
島田精一
津田義久
西澤 豊
野間省伸
福満一夫
村上典吏子
山口多賀幸

(2025年3月1日現在)